

フジオーゼックス株式会社 〈7299〉

2022年3月期第1四半期決算説明資料

2021年7月27日



■ 2022年3月期第1四半期業績ハイライト

➤ 前年同期（21年3月期第1四半期）、前四半期（21年3月期第4四半期） との業績比較

	前年同期 (21年3月期 第1四半期)	前四半期 (21年3月期 第4四半期)	22年3月期 第1四半期 (※)	【参考】 (21年4月～ 6月分)	前年同期比	前四半期比
売上高	3,471	5,722	6,674	5,191	+3,203	+952
営業利益	△588	1,001	920	547	+1,508	△81
営業利益率	△16.9%	17.5%	13.8%	10.5%	+30.7%	△3.7%
経常利益	△515	1,204	965	599	+1,480	△239
当期純利益	△389	941	672	407	+1,061	△269

在外連結子会社
を3ヶ月決算とし
た場合

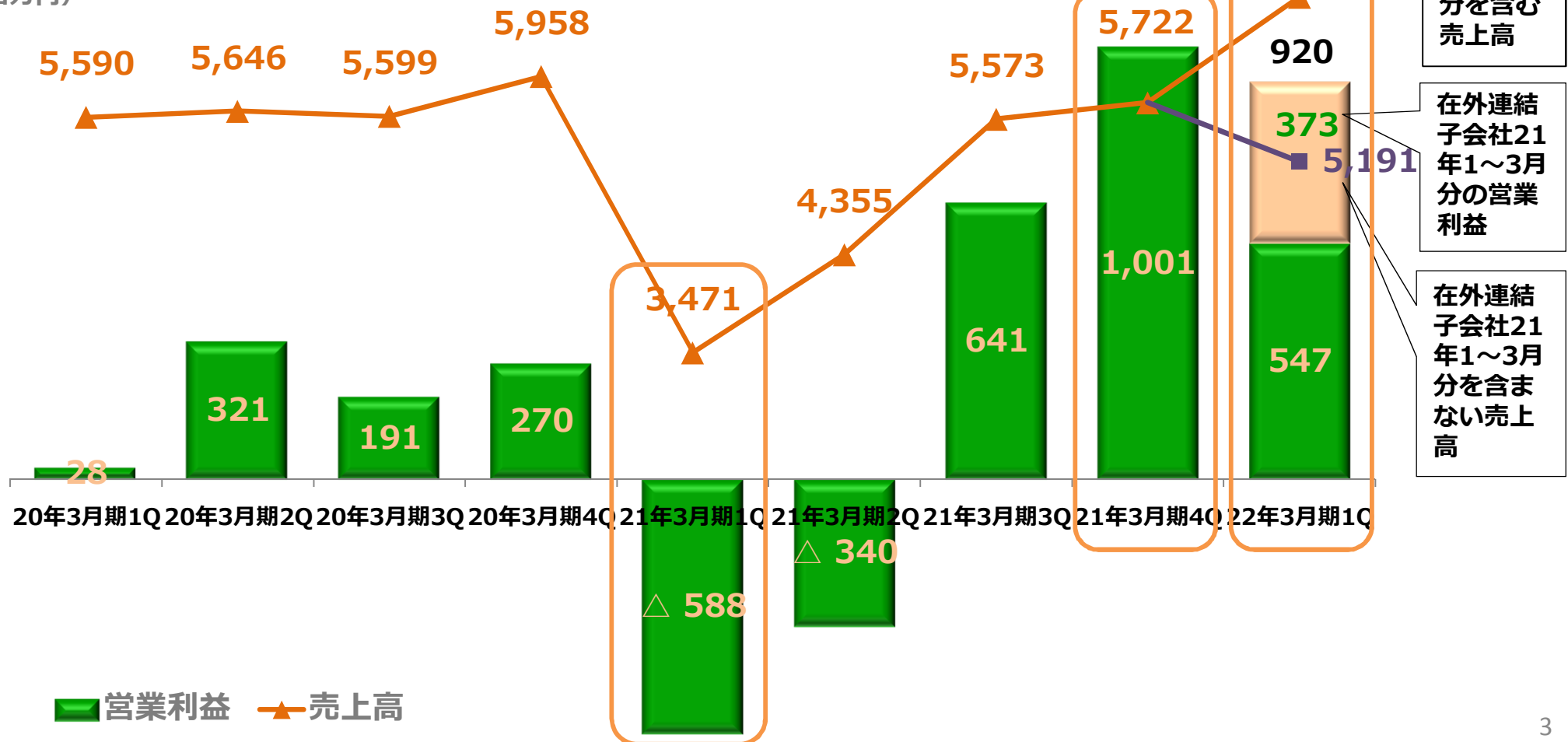
(百万円)

※2022年3月期は決算期統一のため、在外連結子会社は6ヶ月決算となります

■ 売上高および営業利益の四半期ごとと推移

- 前年同期との比較…米国や欧州顧客向け販売の回復等により増収増益
- 前四半期との比較…決算期統一により在外連結子会社が6ヶ月決算となり増収となりましたが、在外連結子会社の21年1-3月分を除くと半導体不足等の影響があり減収減益

(百万円)



■ バランスシートの状況

➤ 流動資産は16,249百万円（流動性比率188.0%）、純資産は26,633百万円（自己資本比率72.3%）と、引き続き高い財務健全性を維持

B/S（前年度末比）

（百万円）

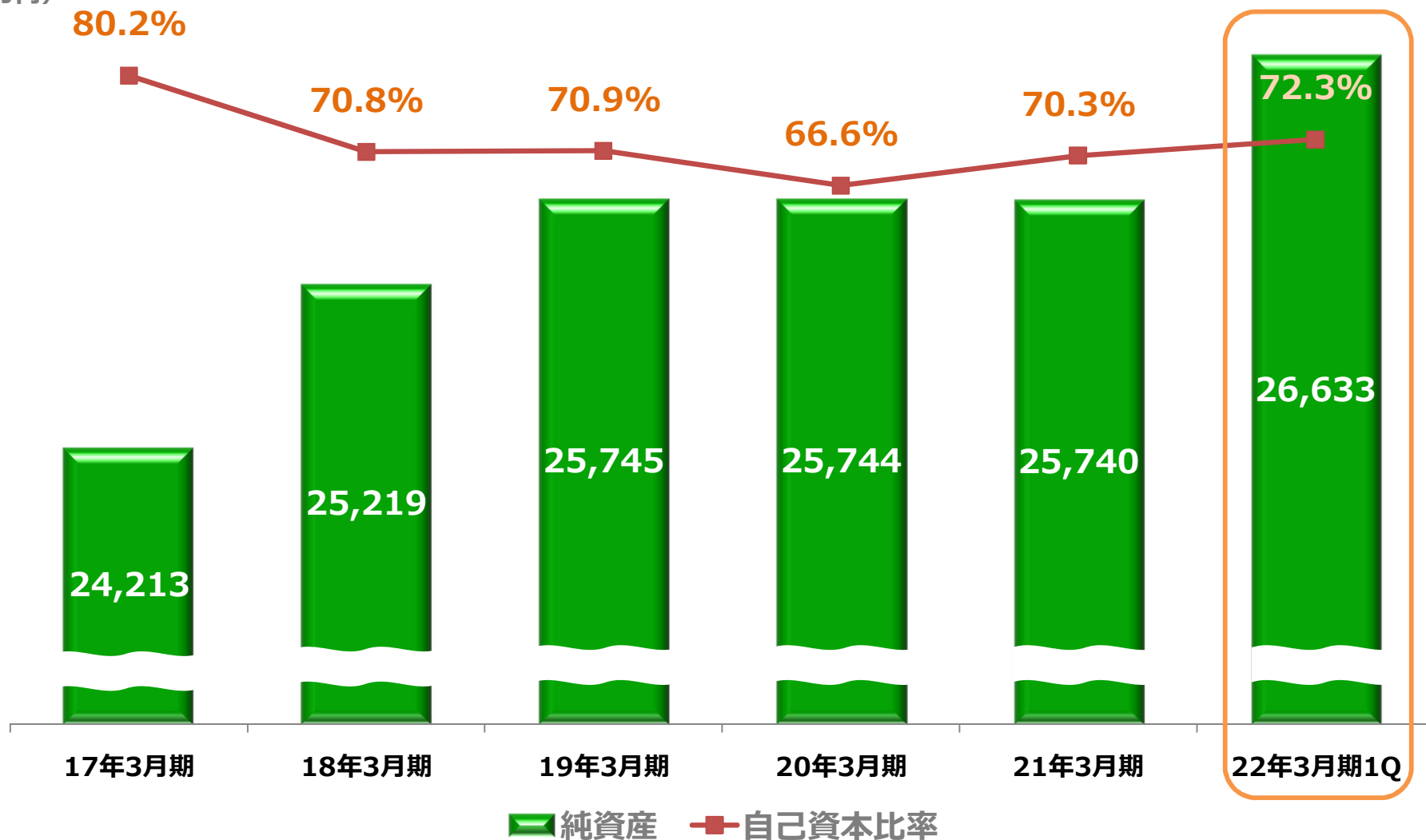
資産	21年6月末	21年3月末	増減額
流動資産	16,249	15,439	+811
現金及び預金	5,007	5,377	△370
売上債権	4,677	4,807	△131
△貸倒引当金	△7	△7	±0
棚卸資産	4,881	5,089	△209
その他	1,693	172	+1,521
固定資産	19,985	20,534	△549
有形固定資産	19,400	19,719	△319
無形固定資産	84	90	△6
投資その他の資産	501	725	△224
資産合計	36,235	35,973	+262

負債及び純資産	21年6月末	21年3月末	増減額
流動負債	8,641	9,023	△382
仕入債務	2,101	2,625	△524
短期借入金	4,661	4,690	△29
一年以内返済予定の長期借入金	570	539	+31
その他	1,309	1,168	+141
固定負債	961	1,210	△249
長期借入金	571	838	△268
その他	390	371	+19
負債合計	9,602	10,233	△631
純資産	26,633	25,740	+893
負債・純資産合計	36,235	35,973	+262

■ 純資産と自己資本比率の四半期ごとの推移

- 18年3月期以降は大規模設備投資に伴う借入金の増加により自己資本比率は低下
- 22年3月期以降は利益の増加、借入金の返済により回復予定

(百万円)



■ 2022年3月期第2四半期業績予想の修正

➤ 2022年3月期第2四半期の業績予想につきましては、固定費圧縮等の原価改善活動により想定以上の利益改善となったため2021年4月28日に公表した業績予想から修正致します。

通期につきましては、半導体不足による自動車減産の影響が依然不透明であるため、業績予想の修正は行っておりません。

(百万円)

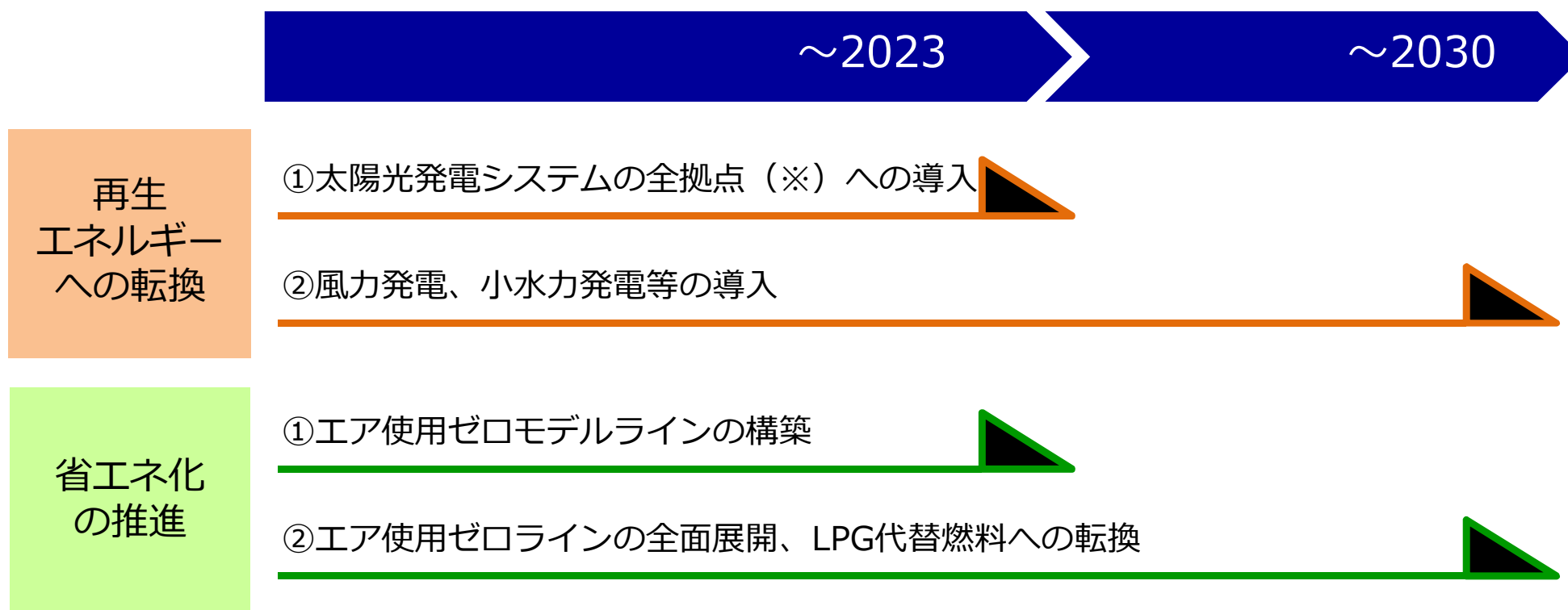
	【当初予想】 22年3月期 第2四半期 (※)	【当初予想】 22年3月期 通期 (※)	(修正有り) 22年3月期 第2四半期 (※)	在外連結子会社を 6ヶ月決算とした場合 【参考】 (21年4月 ～9月分)	(修正無し) 22年3月期 通期 (※)	在外連結子会社を 12ヶ月決算とした 場合 【参考】 (21年4月 ～22年3月分)
売上高	12,000	23,000	12,000	10,517	23,000	21,517
営業利益	1,150	2,200	1,200	827	2,200	1,827
営業利益率	9.6%	9.6%	10.0%	7.9%	9.6%	8.5%
経常利益	1,150	2,200	1,250	884	2,200	1,834
当期純利益	700	850	850	585	1,350	1,085

※2022年3月期は決算期統一のため、在外連結子会社については第2四半期は9ヶ月、通期は15ヶ月決算となります

■ カーボンニュートラルへの取り組み

- 弊社グループではCO₂排出量の削減目標を2023年までに△20%、2030年までに△50%と定め、再生可能エネルギーへの転換、省エネなどの活動を行ってまいります。

カーボンニュートラルに向けたロードマップ



※日本、中国、インドネシア、メキシコの4拠点

本資料に記載されております業績の見通し等の数値につきましては、現在入手可能な情報に基づき作成しております。

今後発生する経営環境の変化等により実際の業績が大きく予想と異なる可能性がありますので、投資等の判断材料として全面的に依拠されることは差し控えて頂きますようお願いいたします。

また、今後予告なしに見通し数値が変更されることがあります。本資料の情報の使用による結果について、弊社は何ら責任を負うものではありませんのでご了承下さい。

フジオーゼックス株式会社